

令和6年度第3回学校運営協議会議事録

さいたま市立宮前中学校

- 1 日時・場所 [日時] 令和7年2月21日(金) 10:00～12:00
[場所] 宮前中図書館

- 2 出席 会長 渡邊 浩志 (宮前中学校PTA会長)
副会長 森田 敏男 (内野公民館 館長)
委員 荒井 清司 (本校チャレンジスクール実行委員長)
奥山 理江 (日進地区主任児童委員)
白石 嘉郎 (内野本郷自治会長)
寺内 一夫 (日進町2丁目自治会北西地区長)
鈴木 真 (宮前町2丁目自治会副会長)
作美 利春 (元特別支援学校教諭)
松山 始子 (元本校PTA副会長)
島田 香 (本校PTA副会長)
松倉 恵 (本校PTA副会)
渡部 智昭 (校長)
新村 純子 (教頭)
浦野 額照 (学校地域連携コーディネーター)
欠席 齋藤 巖 (日進町3丁目自治会長)

3 次第

- (1) 挨拶 (校長)
(2) 開会宣言 (会長)
(3) 学校運営及び取組の報告
今年度の取組について
・各学年の取組について (教頭)
・生徒の様子、ボランティア活動について (学校地域連携コーディネーター)
・学校自己評価シートについて (校長)
・学校評価について (教頭)
・いじめ防止対策について (教頭)
(4) 次年度、宮前中の生徒にどのようなになってほしいか 熟議
・各委員さんより提案
・そのために、どのような活動が有効か
・そのような活動をするためには何が必要か



- (5) 諸連絡 (教頭)
(6) 閉会宣言 (副会長)

4 議事概要

(1) 今年度の取組について (教頭)

- ・別紙資料と綴じこみ資料を使用して紹介
生徒の様子、ボランティア活動について (学校地域連携コーディネーター)
- ・綴じこみ資料を使用して説明
学校自己評価システムシートについて (校長)
- ・綴じこみ資料にて説明

(2) 熟議

「ここまでの取組を振り返り、今後のあり方について」

【学校自己評価シートについて】

森田委員：達成度について、評価Aで8割以上という基準があるので、全ての項目についてA評価でよいのではないか。

【学校評価について】

森田委員：早寝早起き朝ごはんについて、全国学力調査とのクロス集計で、これができる子どもは学力が高いというデータがあるので、そのあたりを周知していけると良い。

【いじめ防止対策について】

荒井委員：地域でも、挨拶等をしていけば気付けることもあるので、積極的に声をかけていきたい。また、内容によっては学校の問題ではなく家庭の問題もある。ある程度線引きをした方が良い。

白石委員：どこかで、兆候があると思うので、どこかにはけ口があると良いのではないか。また、生徒のアンケートで、ほとんどの生徒が「わたしはいじめを許さない、見過ごさないようにしている」と答えているが、残りの少数についても目を向ける必要がある。

鈴木委員：いじめた方は、いじめだと思っていない。どこからがいじめなのか、教える必要がある。

【宮前中の生徒に身につけさせたい力について】

奥山委員：コミュニケーション能力、善悪を見極める力、得意なことや好きなことを見つける。達成シートを作成すると良い。環境対策について考えさせる。

松山委員：コミュニケーション能力もそうだが、地域の方と親も関わりが少ないので、親も前向きに取り組んでいけるとよい。

森田委員：地域の役割を担う人が少なくなっている。中学生に担ってもらうもの

を作ることが大切である。学校が地域に発信して、ハブの役割を果たせると良い。

作美委員：大学生などの先輩と子どもで、進路について語り合うと良い。それは発展して地域と語り合う場を作ると良い。ボランティア活動も、その1つとして考えられる。学校、地域、企業も含めて考えられると良い。高齢者施設とも関わりのある活動を考えてみてはどうか。

コミュニケーション能力の向上と、アクティブラーニングを上手に取組めると良い。

白石委員：自身の意見を言える生徒、積極的に自分の好きなことを見つけられる生徒、心身ともに健康な生徒を目指すが良い。

島田委員：コミュニケーション能力の向上。大人になっても必要な、大切な力の1つ。家庭では難しい時期でもあるので、一緒にいる時間が長い友達や先生方との関係性の中で育んでほしい。

荒井委員：素直な生徒に育ってほしい。また、相談相手を見つけてほしい。

鈴木委員：PCで、基準を決めてそれを全員ができるようになってほしい。闇バイト等の低年齢化をふまえ、中学校でも指導してほしい。

寺内委員：学校で、これだけのことをやっていただいているので、他に何をすればよいのか。全国の自殺者数をみると、先進国で自殺者が2万人を超えているので、日本だけである。理由は、いじめや人間関係など。相談できる相手や、目標を持つことが大切。生きる力、生き抜く力を身につけさせる。自立性も大切である。少数派の意見にも、しっかりと目を向けてほしい。

5. 諸連絡 ・委員の方々の意見を、来年度の学校運営に生かしていきたい。

6 閉会宣言 副会長

7 次回開催予定〔日時〕令和7年6月中旬 10:00～

〔場所〕宮前中図書室

